

「住民こそ主人公」が信条です

なくてはならない市政のチェック役



鈴鹿市庁舎の前で

市民の声に沿って行動

「大合併」ノー、鈴鹿市を守る
前期末の03年、四日市との「大合併」案に、「鈴鹿の市民にメリットなし」と具体的なデータをもとに追及、議会で

の否決に力を尽くしました。今期の川岸市長にも「合併しない」との決断を迫り、鈴鹿市を守りました。

高い国保税、2年連続引き下げさせる

「県下でいちばん高い国保税、収納率はピリ」の実態を明らかにし、値上げし過ぎて

できた11億円の黒字を値下げに回せと主張。05、06年度と5%づつの引き下げを実現しました。

長良川導水、産廃焼却施設をストゥップ

鈴鹿市の上水道に長良川河口堰の水を入れる計画に、市民運動の皆さんとともに反対。県企業庁もついに当初計画の実施を断念しました。

「養魚場」と称して廃プラスチック焼却炉を設置しようとした業者に、地元追分町住民が大反対運動。議会では

「こんな偽装を認めてはならない」と追及、業者は撤退となりました。



本会議場演壇に立つ

市長にもズバリもの言っ

市長退職金引き下げさせる

「4年ごとに2100万円とは高すぎる」と、市長に引き下げを提言。市長は1割カットを表明しました。

「同和」行政は終結せよ

差別の実態がなくなり、法律もなくなったのに、「いつまでも部落差別意識

識が残る」という間違った同和行政を正面から批判。特別扱いをやめるよう求めました。

過酷な税金取り立てやめよ

滞納している市民が納付した金を、「本税」より先に「延滞金」に充てるという、サラ金まがいの取り立てはやめよと追及しました。



鈴鹿民商の皆さんと市交渉

建設的な提案で問題の解決

入札改革で、新庁舎建設13億円の節約に

入札「談合」をなくす対策として、予定価格の引き下げなどの改革を提案。新庁舎の入札で初めて10%引き下げて入札を実施し、その結果、設計価格より13億円も安くなりました。その後も大きな工事は、4%引き下げて入札を行なっています。

また、庁舎展望ロビーを年中市

民に開放することを提案、来庁者に喜ばれています。

遊休地、遊休施設の活用を

土地開発公社が多くかかえる長期保有地の早期処分を求め、05年一部売却で3億円ほど不良資産がへりました。また、市の施設の有効利用も提案、建物2ヶ所が「子育て支援」施設に転用されました。



子育て支援センター「りんりん」の前で



バイクで議会報告を配る

議会報告、生活相談もしつかりと

20年間、毎議会かならず質問に立ち、一般質問の回数のはべ78回(06年9月まで)になります。また議会報告の「すずか民報」や「議会レポート」を欠かさず発行。

「議会レポート」を欠かさず発行。地元では自らバイクで全戸に配り、初当選時の住民への約束「ガラス張りの議会活動」を、きちんと守りつづけています。福祉や税金、サラ金、生活環境などの生活相談も、多く寄せられますが、どんな相談にも親身に対応、解決に向けていっしょに奔走します。